

まほろば



2024年3月1日号 No.107 12月定例会の内容をお伝えします。

※題字については、第65回天理市展において議会議長賞を受賞された五十嵐美保さんにお書きいただきました。



CONTENTS

12月定例会の概要	2
こんなことを質問しました	5
こんなことが決まりました	11

議員研修会

令和6年1月16日、(株)廣瀬行政研究所 代表取締役 廣瀬和彦氏を講師にむかえ、議員の役割と権限をテーマに議員研修会を開催しました。

令和6年能登半島地震の被害に対する支援について



令和6年能登半島地震で犠牲になられた方々にお悔み申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

皆様の安全と被災地の一刻も早い復興を心よりお祈りいたします。

市議会では、議員16名全員から取りまとめた48万円の義援金を、被災された方々を支援するために、北信越市議会議長会を通じて寄附しました。

また、天理市では市役所1階中央ホール、天理駅前広場コフフン南団体待合所、及び市内公民館に募金箱を設置しておりますので、皆様の温かいご支援をお願いいたします。

こんなことを話し合いました



開会日(12月4日)
市長提案

●会期の決定

会期を12月19日までの16日間と決定しました。

●監査報告

監査委員より2件の監査報告がありました。

●報告

報告2件が上程され、原案どおり了承しました。

●承認案

承認案1件が上程され、原案どおり承認しました。

●提案説明

今議会に提出された12議案について、市長より提案説明が行われました。

再開日(12月6日)
委員会付託

●委員会付託

上程された12議案を各常任委員会に付託し、審査することとしました。

文教厚生委員会

・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について ほか

経済産業委員会

・風致地区条例の一部改正について ほか

総務財政委員会

・一般会計補正予算 ほか
計5議案を付託

※委員会審査の概要については、3〜4Pに掲載しています。

再開日(12月13・14日)
代表質問・一般質問

●代表質問

清風会

・市本 貴志 議員

令和の会

・井上 伸吾 議員

●一般質問

・今西 康世 議員

・山田 哲生 議員

・鳥山 淳一 議員

・藤本 さゆり 議員

・寺井 正則 議員

・村木 敬 議員

・鈴木 洋 議員

・神田 和彦 議員

・石津 雅恵 議員

(質問順)

※一般質問の要旨については、5〜10Pに掲載しています。



最終日(12月18日)
採決

●委員長報告

所管委員会に付託されていた12議案について、各委員長より、審査の経過並びに結果の報告がありました。

●討論

1議案について、村木議員より反対討論がありました。

●採決

12議案について、いずれも原案どおり可決しました。

●追加議案

提出された追加議案について、市長より提案説明があり、うち1議案について神田議員から反対討論がありました。採決の結果、全て原案どおり可決しました。

●決議案・発議案

意見書1件及び発議案1件について、それぞれ提案者の説明の後、原案どおり可決しました。

文教厚生委員会

12月7日

付託議案の審査概要

市立こども園における一時保育に関する条例の一部改正について

保育料と給食費等の実費相当額の合計額で設定されている一時保育負担金について、様々な利用形態に対応するとともに、給食費等の値上げに対応すべく、当該負担金の内訳を明確化するため、所要の改正をしようとするもの。



部落差別の解消の推進に関する条例の制定について

平成28年に部落差別の解消の推進に関する法律等が制定されたことから、本市においても、情報化の進展に伴う部落差別における状況の変化が生じていることを踏まえ、部落差別の解消に関する施策を推進し、部落差別のない天理市を実現するため、新たに本条例を制定しようとするもの。



市立メディカルセンターの指定管理者の指定について

市立メディカルセンターについて、天理市蔵之庄町社会医療法人 高国会理事長を指定管理者に指定しようとするため、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めようとするもの。



詳細は

天理市のホームページ

天理市議会

会議録の検索と閲覧

よりご覧ください

経済産業委員会

12月8日

付託議案の審査概要

風致地区条例の一部改正について

本市の風致地区内の建築物の建築等における高さの基準について、土地利用を図り、地域の活性化を進めることを目的に、当該基準を自然公園法と同様の高さへ緩和するため、所要の改正をしようとするもの。

火葬場の指定管理者の指定について

天理市火葬場の天理市聖苑について、天理市川原城町一般財団法人 天理市開発公社 代表理事を指定管理者に指定しようとするため、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めようとするもの。



その他の質問事項

- Q** 新クリーンセンター移行後の現在のクリーンセンターの跡地利用及び、し尿処理施設の今後について
- A** 現在のクリーンセンターの跡地利用は現在検討中。
- A** し尿処理施設は令和12年9月まで現在の敷地で稼働する予定。

総務財政委員会

12月11日

付託議案の審査概要

令和5年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、2億3821万7千円を追加。

○歳出の主な内容

- ・櫛本北こども園建設に伴う通園路への防護柵設置工事費の増額

- ・令和4年度事業費確定による、国・県からの各種補助金等の精算に伴う返還金の増額

- ・障害福祉サービスの利用増加に伴う障害福祉サービス介護給付費の増額

- ・障害児通所支援事業所の利用増加に伴う障害児通所給付費の増額

- ・社会保障・税番号制度に係るシステム改修委託料の増

額及び人事異動・育児休業等に伴う人件費の減額 等

○歳入の主な内容

- ・国庫支出金
- ・県支出金
- ・繰越金
- ・雑入

○健康づくり計画の策定スケジュールの変更等に伴い、健康づくり計画策定委託料に係る債務負担行為の限度額を523万5千円に変更しようとするもの。



詳細は

天理市のホームページ

天理市議会

会議録の検索と閲覧

よりご覧ください

一般職の任期付職員採用等に関する条例等の一部改正について

新型インフルエンザ等対策特別措置法が改正されたことに伴い、本市の関係条例における文言の変更及び引用条文の整理を行う必要があるため、所要の改正をしようとするもの。

天理市柳本駅舎の指定管理者の指定について

天理市柳本駅舎について、天理市柳本町 柳本駅舎管理運営協議会 会長を指定管理者に指定しようとするため、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めようとするもの。

天理駅前広場及び天理市自転車等駐車場の指定管理者の指定について

天理駅前広場及び天理市自転車等駐車場の2施設について、大阪市浪速区桜川東洋テック株式会社 チームテンリ 共同事業体代表者 東洋テック株式会社 代表取締役社長を指定管理者に指定しようとするため、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めようとするもの。



その他の質問事項

Q 11月販売のプレミアム付イチカが売れ残っているが対策は。

A 現在、500枚が販売店舗に残っているため、購入していただけるように強く周知を図る。

Q 使用期限が2月末までとなっているが、3月末までに変更できないか。

A 国の交付金を使用していることから、延長は難しい。

Q 公共料金の支払いや、公共施設の使用料に利用できないか。

A 法律によって制限があるため、調査研究を行う。

要望 今回の販売状況を踏まえて、今後しっかりと普及させ、充実されるように取り組んでいただきたい。





市民のみなさんの暮らしをより良いものにするため、市に対して質問を行いました。

その主な内容をお伝えします。(5～10P)

こんなことを質問しました

※すべての質問が動画で視聴及び会議録で閲覧できます。

[天理市のホームページ](#)

[天理市議会](#)

[議会中継](#) (動画)・

[会議録の検索と閲覧](#)

代表質問	
清風会 市本 貴志 議員 ・本市の教育行政及び市政運営について	令和の会 井上 伸吾 議員 ・DXについて (市民の各課への申請時のペーパーレス化「書かない窓口」の推進) ・天理市政について
一般質問	
今西 康世 議員 ・「子どもまんなか社会」の実現に向けて(子ども家庭庁に関して) ・子ども家庭庁と地方自治体との連携強化について ・子ども・子育て政策の課題 ・子どもの「居場所」とともに合わせた「居場所」づくりについて ・障がい児支援のこれからについて ・教員の働き方改革について 山田 哲生 議員 ・クリーンセンターについて 島山 淳一 議員 ・山の辺小学校建築の今後の方向について ・給食費にかかる対応の充実について ・イチカポイントのボランティア還元について ・少子化対策イベントの今後の充実について 藤本 さゆり 議員 ・天理のみりよく発見 Be a Time Travelerについて ・地域でいきいきと安心して暮らせるまちづくりについて 寺井 正則 議員 ・アピランスクエア支援事業について ・デジタル障害者手帳の導入について ・認知症施策について ・RAMPSの活用について	村木 敬 議員 ・女性の生理用品について ・金融(中小企業・個人事業主に対する融資)について ・インボイス制度について ・図書館に教科書を常設展示することについて ・奈良県「県域水道一体化」について ・ファシリティマネジメントについて (仮称)子ども応援・相談センター ・ほっとステーションについて ・天理市が若者の個人情報を自衛隊に提供していることについて ・三世代同居近居住宅支援事業について 鈴木 洋 議員 ・大地震と二次災害に対する防災について ・地域創生の観点からの学生支援について 神田 和彦 議員 ・11月6日販売のプレミアム付きイチカについて ・みんなの学校プロジェクトについて ・12月に行われるチョイソコ導入検討について 石津 雅恵 議員 ・歳入増加策について ・市職員の働き方について

※一般質問の要旨については、発言した議員が編集しています。



代表質問
清風会 市本 貴志 議員



一問一答

学校と地域の連携について

Q 教員の働き方改革と部活動が両立できるよう、部活動の地域移行に関する提言が発表された。部活動地域移行についての今後の本市教育委員会の取組みと展望について。

A 部活動地域移行推進協議会を立ち上げ、西中学校吹奏楽部をモデルに実証事業を行っており、運動部のモデル競技の選定準備を進めている。本市のスポーツ・文化活動を応援される企業に、ふるさと納税で予算の支援をいただく方法も検討する。(教育長)

要望 地域事情を踏まえ取組みを考えていただきたい。スポーツのまち天理、音楽のまち天理を自負していくのであれば、スポーツと文化を天理市の共有財産と捉え、長期的な視点で地域の企業、団体、大学との取組みの連携を是非ぜひ前に進めて頂きたい。



県域水道一体化に向けた今後の本市の取組みについて

Q 県域水道一体化に伴い、上水道は奈良県、下水道は天理市が運営することになる。本市の下水道経営と下水処理場などの施設の整備及び配管の維持管理等、今後の取組みと展望について。

A 奈良県広域水道企業団基本計画には下水道事業を引き継がないと記載されており、一体化後は、市が単独で下水道事業を経営することとなる。一体化後の下水道事業会計については公営企業会計の形で継続。事業自体については、業務を市長部局で行うか公営企業で行うか現在議論している。今後も、持続可能で効率的な運営を目指して検討を進めたい。(市長)



一問一答

D・X施策について

Q 天理市ではどのような窓
口D・Xの取組みをしているか。

A 令和2年にNTT西日本

とICTを活用したまちづくりに関する連携協定を締結し、デジタル技術を活用し、効率的で利便性が高い行政サービスが提供できる取組みを推進。令和3年10月に保育所の入所手続の電子申請を開始。令和5年3月から子育て・介護関係等の26手続がマイナンバーカードの認証によりオンラインで完結できる。今年度からは市民課窓口等で、子ども連れや妊婦を対象に、優先ブースで職員が申請内容を聞き取り、手続ができる「こどもフアストトラック」を導入した。令和7年度には、来庁時に職員が必要事項を聞き取り、その情報をデータ連携し手続きが必要な部署に繋ぐ「書かない窓口」を目指す。（市長）

天理市政について

Q 市長3期目前半の事業の進捗状況と後半への抱負は。

A 感染対策やワクチン接種の円滑な実施、市内事業者への支援などを行ってきた。

また、デジタル地域通貨イチカの活用等で暮らし・子育て支援に取組んできた。

令和3・4年度と単年度黒字を達成。5年度末で基金残高は31億円となる見込み。

物価や経常経費の高騰が見込まれる中、持続可能な市民サービス提供のための行政のスリム化、少子化対策が今後の課題となる。みんなの学校プロジェクトや高齢者支援、既存の公共施設の有意義な活用等を総合的にを行い、人口減少社会に対応できる新たな市役所への道筋をつける。（市長）



一問一答

こども家庭庁と地方自治体との連携強化について

Q 子ども政策は国の未来への投資で最重要の柱。経済成長、社会環境、精神的負担感等の課題がある中、子ども・子育て当事者への行政の関与が重要であるが、こども家庭庁との連携強化の取組みは。

A 市子ども家庭センター設立準備や、こどもまんなか応援サポーターへの就任を宣言した。今後も国の施策と連携し事業を実施したい。（市長）

Q 子育てしづらい社会環境、経済的負担等課題は様々。どのように取組まれるのか。

A 子ども・子育て支援制度等、必要な支援をし、一人一人の子どもが健やかに成長できるように努める。（市長）

Q こどもの居場所について。

A 家庭・学校・専門家が連携し取組んでおり、今後は地

域との連携も推進していく。こどもの居場所づくり支援事業者も募集している。（市長）

Q 障がい児の育成支援には、子どもと家族のウェルビーイングの向上、地域社会への参加・包摂の推進等が重要であり、強度行動障害への対応も含め、人材の確保等どのように取組まれるのか。

A 国の指針を基に作成した障害児福祉計画にのっとり支援を進める。また、県実施の強度行動障害支援者養成研修受講の啓発に努める。（市長）

要望 児童発達支援センターを設置し、体制整備を望む。

Q 教員の働き方改革は。

A 保護者対応負担軽減のため、（仮称）子ども応援相談センターを設置する。（教育長）





山田 哲生 議員



一括質問

市民の皆様よりいただいた疑問、質問より、クリーンセンターについて

Q 新クリーンセンターの現在の建設費は。

A エネルギー回収型廃棄物処理施設の建設費約267億円、マテリアルリサイクル推進施設の建設費約70億円、各施設の25年間の運営費約246億円、合計約583億円である。計画当初から建設資材の高騰や人件費の上昇、スラウド条項適用により建設費が増加したが、適正として、組合議会、市議会でその都度ご了承を頂いている。(市長)

Q 地権者である天理教と天理市との賃貸借契約書中、賃貸料の項目に、公租公課相当額と記載された経緯は。

A 地権者の要望により、時々々の経済状況で変動する公租公課相当額を加える形での賃料の算出方法とした。(市長)



Q 一般ごみの持ち込み搬入による交通渋滞への対策は。

A 旧山辺広域以外の市町の直接搬入を認めず、各々が設置する中継施設を経由し、大型車に積み替えて搬入させる。また、市民の一般ごみの持ち込みは予約システムを導入し一度に集中させないことで交通渋滞防止に努める。(市長)

Q 周辺地区環境整備事業は滞りなく進んでいるか。

A 櫛本校区については協議が行われ、内部合意が成された。今年度執行分までを含めると櫛本小学校の改修など4件5300万円。広域組合から集会所関連など27件、もうもろ合わせ約3億4800万円程度を執行している。山の辺校区については、まだ内部合意には達していない。(市長)



鳥山 淳一 議員



一問一答

※ FMの視点からの、山の辺小学校建替えの方針は。

A 築55年が経過し、調査ではコンクリート劣化が進み長寿命化は不適と判定。安易に統廃合を進めるのではなく、地域の学校と位置づけ、みんなの学校プロジェクトを進めており、国の補助率が高い公民館と学校施設の複合化を視野に検討したい。(市長)

Q 学校職員及び地域住民の希望を聞く機会は。

A 実際に使用される方が、どのようなソフト事業をされるかを検討できる協議体の設置が必要と考える。(市長)

Q 給食費に係る多子家庭対応の充実は。

A 保育の第2子以降の無償化や医療費の無償化等が求められる中、持続可能な行政運営ができるのを見極めて検討したい。(教育長)

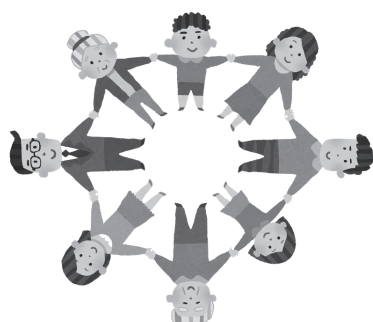
Q 市デジタル地域通貨イチ

力の広がり、ボランティア団体への還元は。

A 5年度は2億2300万円が流通し、加盟店も400店舗に広がる。物価高騰対策や子育て世帯へのイチカポイント配布事業等を実施した。また、健康ポイント事業や生活支援ボランティア等、市の事業に協力いただいた方に配布。イチカプラス事業として子ども食堂等30を超える支援先に寄附する流れができていく。その他のボランティアへの還元は、活動が多種多様のため、どの運用方法が適切なのか検討する。(市長)

Q 少子化対策の充実は。

A 引き続き、ハロパト等の人材育成、相談業務、イベントなど、大学や事業者の皆さんと連携して取り組む。(市長)





一問一答

天理の魅力発見 Be a Time Traveler にしよう

Q 産官学の協働による Time Travel City 天理の現在の取り組みとその効果について。

A 市内小中学生の夏休みの自由課題とし、児童生徒が自らリサーチした作品が多数集まった。作品展を「ほこてんり」等のイベントと同時開催。来場者からの作品に対するメッセージ等で、子供たちの自己肯定感を高める効果と、本取り組みをとおして天理市を自分の大切なまちと思ってもらうことに期待する。(教育長)

Q 天理ユネスコ協会「わたしの町のたからもの」絵画展等の各団体との連携は。

A 少子化、保護者の多忙化の中、天理の魅力を児童生徒や地域の方に広く深く伝えるため、各団体と連携し行事のリニューアルをするとともに、

様々な団体の行事をつなげ、多くの人に参加して頂けるよう力を合わせたい。(教育長)
地域でいきいきと安心して暮らせるまちづくりについて

Q 介護予防の取り組みは。

A 活脳教室の実施と共に、市内約60カ所に設置されている通いの場において健康づくりの取り組みを実施。生活支援コーディネート、地域包括支援センター、各種専門職と連携し一層取り組む。(市長)

Q 健康づくりの取り組みは。

A 多世代の健康づくりを支援する環境が大切。通称まちかど相談室の保健教室、地域サロン、みんなの学校プロジェクト等に健康増進要素を組み入れていきたい。(市長)

要望 働いている方が予約を取りやすいように特定健診日を増やしてほしい。



一問一答

※1
アピアランスケア支援事業について

Q がん患者支援のために、アピアランスケア支援事業に取組む考えは。

A がん治療に伴う外見の変化に対するサポートは重要と考えており、県の補助制度を活用し、来年度から事業を開始したい。(市長)

Q デジタル障害者手帳スマートフォンアプリ「ミライロID」導入の考えは。

A 紙の障害者手帳を持ち歩くことなく、各種サービスを受けられる便利なツールであり、市においても提示する必要がある施設で利用できるように進めたい。(市長)

Q 認知症施策について

Q 認知症施策の現状は。

A 活脳教室や認知症カフェ、認知症サポーターの養成等に

取組んでいる。(市長)
※2
Q 認知症「神戸モデル」を参考に取組む考えは。

A 本市では、認知症への理解促進のため啓発を強化するとともに、認知症ケアパスの活用やかかりつけ医を持ち、認知症診断医療機関に繋いでいただくことを推奨する。

認知症「神戸モデル」導入のための超過課税は物価高騰などが続く現状では難しい。全市民で分かち合ってもという機運が高まれば、その状況にに応じて対応したい。(市長)

Q RAMP Sの活用について

Q 学校における精神不調アセスメントツール(RAMP S)活用についての考えは。

A 非常に有用なシステムであり試行的な導入も含め検討したい。(教育長)



※1：がん治療による外見の変化に対し、医療者が行うケアのこと。

※2：認知症の状態で応じたサービス提供の流れを、地域ごとにまとめたもの。

※3：神戸市が実施している、先進的な認知症施策のこと。

※4：法律で定められている標準税率より、税率を上げて課税する仕組み。



村木 敬 議員



一括質問

生理の尊厳への対策

Q 生理の尊厳を尊重するためには、学校・公共施設などのトイレにトイレットペーパーのように生理用品が置かれるべきではないか。

A 小中学校・児童館を中心に予算措置を含めて対応していきたい。（市長）

金融（中小企業個人事業主に対する融資）について

Q コロナ禍での無利子無担保の融資制度の返済と、現在の急激な原材料高騰の収益に対する影響で中小零細企業は資金繰りに困窮している。市として相談体制・金融対策が必要ではないか。

A 市の制度では2分の1の利子補給及び保証料全額負担の支援を行っている。奈良県信用保証協会及び市内金融機関と連携し、国の動向と市内事業者の状況を踏まえ、適切な金融支援に努める。（市長）

天理市民会館について

Q 天理市民会館は音楽芸術文化活動の拠点として必要だと考えるが、どうお考えか。

A 長寿命化は難しく、建替えは財政的に厳しい。他の公共施設との関係等も考慮し、文化・芸術活動を守るため、知恵をしまりたい。（市長）

Q 個人情報提供を自衛隊に紙媒体で提供することは憲法13条に基づくプライバシー権の侵害ではないか。

A 防衛省と総務省の依頼に基づき紙媒体での情報提供を実施しているが、今後司法の場で違憲とされればそれに従いたい。（市長）



鈴木 洋 議員



一問一答

大地震に対する防災について

Q 南海トラフ地震に国が示す最新の被害想定と、海溝型大地震の前後に起こると考えられる活断層地震への被害想定も踏まえた取組みは。

A 最近の調査を基にする南海トラフ地震の被害想定では海溝型と内陸側で起こるパターンが示され、内陸側での最大級地震の場合、奈良でも震度6強、本市でも6弱が想定される。市の地震ハザードマップでは奈良盆地東縁断層を震源とする大地震については大きく記載しているが、南海トラフ地震の最新の被害想定も分かりやすい啓発に努める。（市長）

Q 被害想定を基にして備えをしなければならぬが、家庭の食料や水の備蓄について、国が示す通り最低3日分からできるだけ一週間分の確保を奨励する必要があると考える

が。

A 現在、食料、水の備蓄は最低3日間として啓発しているが、家庭でも一週間分の備蓄も必要と考える。南海トラフ地震はより広域に被害が発生することから、支援が遅滞することも想定した対策に努めたい。（市長）

Q 地震による火災対策として感震ブレーカーの奨励は。

A 校区毎に開催する防災訓練等で啓発しているが、有効性の理解と普及促進の広報や政策も考えたい。（市長）

地域創生の観点の学生支援

Q 近隣自治体でも取り組む学生の奨学金返還支援は。

A 子育てや教育への支援とともに、若者を応援する施策については情報共有しつつ相談したい。（市長）





神田 和彦 議員



一問一答

イチカ普及について

Q 第3回目のプレミアム付イチカチャージカードの販売が終わった段階での天理市内でのイチカの総流通額、利用率及び販売状況について。

A イチカ事業の流通総額は約2億2300万円で、1億6000万円が使用されており、使用率は75・8%。今後、約5400万円のポイントが流通する見込みである。3回目のプレミアム付イチカチャージカード販売分は、ポイント還元率が下がったこともあり、現在の販売額は2310万円程度となっている。(市長)

みんなの学校プロジェクトについて

Q 各小中学校プールの老朽化に伴う今後の展開について。

A 朝和小学校のプール授業は引き続きスイムピアで行う。柳本・井戸堂小学校のプールも、近く耐用年数を迎えるが、



南中学校区のごを拠点のプールにするか検討中である。機本小学校のプールも老朽化をしてきているが、このプールが中学校区において比較的新しいのを見ながら、集約の方向性を諮っていく。(市長)

Choyoisochoの導入について

Q 現在の登録者数と、停留所の選定理由について。

A Choyoisocho実証運行を12月1日から実施しており、8日までで、利用者218名、会員登録者数は1846名となっている。停車場所は、試験的な段階であるが、既存のデマンドタクシーとコミュニティバスの停留所を仮として設定している。住宅地の停留所が109か所、目的地停留所が11か所ある。(市長)



石津 雅恵 議員



一問一答

歳入増加策について

Q 本市の現時点でのふるさと納税等の外部からの収入額と、新たな取組みについて。

A 令和5年度11月末現在の寄付金の受け入れ状況は、4322件、7693万5千円。ふるさと納税型クラウドファンディング制度の活用や、企業版ふるさと納税についても取組みを広げている。(市長)

Q これからのふるさと納税額の増加策についての見解は。

A ニーズに合わせた返礼品の開発を進めながら新規返礼品や、体験型返礼品についても地元生産者や企業と折衝している。経済効果に繋がるよう力を入れる。(市長)

要望 人気返礼品の柿やイチゴは生産者不足が問題になっている。他市町村の取組みで自治体職員の希望者が手伝いに行き人手不足解消に繋がっている。是非天理市でも取り

入れている。是非天理市でも取り



入っていたきたい。また、観光等で天理へ訪れた際に気軽に寄付が出来るよう、QRコードをつけた観光ポスター等を掲示配布して税収の増加に努めていきたい。

市職員の働き方について

Q 職員数の減少に伴い、業務の効率化を図るため、電話通話録音装置の設置をしては。

A 職員を守るためにも可及的速やかに導入したい。(市長)

Q 市職員のハラスメント相談について庁内対応のほか、第三者によるサポートは。

A カウンセラーとの面接相談や、医師などの面接指導も受けられるような体制を取っており、悩みを抱え込まなくていい職場環境の整備に努める。(市長)



こんなことが決まりました

全員賛成で決定した議案

- 報告** ・ 損害賠償の専決処分の報告について
 ・ 市営の住宅に係る訴えの提起に関する専決処分の報告について
- 承認案** ・ 専決処分の承認を求めることについて
- 議案** ・ 令和5年度天理市一般会計補正予算（第7号）
 ・ 天理市一般職の任期付職員の採用等に関する条例等の一部改正について
 ・ 天理市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
 ・ 天理市立こども園における一時保育に関する条例の一部改正について
 ・ 天理市風致地区条例の一部改正について
 ・ 天理市学童保育所の指定管理者の指定について
 ・ 天理駅前広場及び天理市自転車等駐車場の指定管理者の指定について
 ・ 天理市火葬場の指定管理者の指定について
 ・ 天理市立メディカルセンターの指定管理者の指定について
 ・ 天理駅前広場自動車駐車場の指定管理者の指定について
 ・ 天理市柳本駅舎の指定管理者の指定について
 ・ 令和5年度天理市一般会計補正予算（第8号）（追加議案）
 ・ 令和5年度天理市土地地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）（追加議案）
 ・ 天理市一般職の任期付職員の採用等に関する条例及び天理市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について（追加議案）
 ・ 天理市国民健康保険条例の一部改正について（追加議案）
- 決議案** ・ 食品ロス削減への国民運動のさらなる推進を求める意見書について
- 発議案** ・ 天理市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について

意見が分かれた議案

- 議案** ・ 議案第46号 天理市部落差別の解消の推進に関する条例の制定について
 ・ 議案第57号 天理市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の一部改正について（追加議案）

会 派	清 風 会									令 和 の 会				無 会 派			
	市本 貴志	内田 智之	東田 匡弘	榎堀 秀樹	大橋 基之	鈴木 洋	西崎 圭介	鳥山 淳一	石津 雅恵	山田 哲生	井上 伸吾	今西 康世	藤本さゆり	寺井 正則	神田 和彦	村木 敬	結 果
議案第46号	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
議案第57号	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決

賛成…○

反対…×

※議長は表決に加わりません。

反対討論

- ・ 村木議員
 議案第46号：部落差別は、身分制社会の分断統治が原因である。本条例は再び国民を分断するものであり、部落差別を固定化・永久化することになるので反対する。
- ・ 神田議員
 議案第57号：物価高・燃料費高騰により、市民の生活が大変厳しくなっている状況の中、議員自らの手で期末手当を引き上げるべきではない。

令和6年第1回天理市議会定例会 本会議・委員会日程

- 3月4日(月)
 - 9時30分 議会運営委員会
 - 11時00分 本会議開会
- 3月6日(水)
 - 9時30分 議会運営委員会
 - 11時00分 本会議再開
- 3月7日(木) 9時30分 文教厚生委員会
- 3月8日(金) 9時30分 経済産業委員会
- 3月11日(月) 9時30分 総務財政委員会
- 3月12日(火) 9時30分 予算審査特別委員会
- 3月13日(水) 9時30分 予算審査特別委員会
- 3月15日(金)
 - 9時00分 議会運営委員会
 - 10時00分 本会議再開 ※一般質問
- 3月18日(月)
 - 10時00分 本会議再開 ※一般質問
- 3月21日(木)
 - 9時30分 議会運営委員会
 - 11時00分 本会議再開

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
	本会議 11:00		本会議 11:00	文教 9:30	経済 9:30	
10	11	12	13	14	15	16
	総務 9:30	予算 9:30	予算 9:30		本会議 10:00	
17	18	19	20	21	22	23
	本会議 10:00			本会議 11:00	(会期)	
24/31	25	26	27	28	29	30

※会 期＝3月22日(金)までの19日間

議会中継をご覧ください

本会議のライブ中継及び録画中継を、パソコンやスマートフォンからご覧いただけます。

天理市ホームページから

天理市議会 ▶ 議会中継 と

お進みいただくか、

右のQRコードからご覧ください。



議会を傍聴しませんか

本会議、各常任委員会及び議会運営委員会が傍聴できます。

市政への知識を深めることや議会の活動、市の方針などを知ることができますので、傍聴を希望される方は、本会議や委員会当日、本庁舎6階事務局までお越しください。

また、団体での傍聴を希望される方は座席の都合上、事前に事務局へお問い合わせください。

○お問い合わせ 議会事務局

63-1001内線603

議会広報編集委員会

委員長 鳥山 淳 一

委員 鈴木 洋

委員 寺井 正 則

副委員長 市 本 貴 志

委員 内 田 智 之

委員 山 田 哲 生